



一般社団法人 日本創傷・オストミー・失禁管理学会  
Japanese Society of Wound, Ostomy, and Continence Management

一般社団法人 日本創傷・オストミー・失禁管理学会  
理事長 田中 秀子  
同 社会保険委員会  
委員長 渡邊千登世

平成 30 年度の診療報酬改訂における「C005 在宅患者訪問看護・指導料」の  
要件見直しについての情報提供

- 1) 平成 30 年度の「在宅患者訪問看護・指導料」の要件に、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師が追加され、また対象患者に、真皮を越える褥瘡の状態にある患者以外に、人工肛門若しくは人工膀胱を造設している者で管理が困難で通院が困難なものに対しても算定することが可能となりました。
- 2) 人工肛門もしくは人工膀胱を造設患者で管理困難とされる、びらん等の皮膚障害が継続又は反復して生じている状態は、「ABCD-Stoma (ストーマ周囲皮膚障害の重症度評価スケール) において、A (近接部)、B (皮膚保護剤部)、C (皮膚保護剤外部) の 3 つの部位のうち 1 部位でも びらん、水疱・膿疱又は潰瘍・組織増大の状態が 1 週間以上継続している、もしくは 1 か月以内に反復して生じている状態」と示されています。そのため、ストーマ周囲の皮膚の観察には ABCD-Stoma による評価が必須となります。
- 3) 第 27 回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 (於：札幌) で、ICT 活用として ABCD-Stoma のアプリが公表されます。参考の上ご活用下さい。